

報 平成十五年七月～十二月

於 響流館会議室

神戸和磨

清沢とレヴィナス

・研究所規程の改訂について
十一月十八日(火) 午後五時五十分

ニューヨーク州立大学教授

マーク・ブラム氏

・研究所規程の改訂について

◆修士論文中間発表会

・二〇〇四(平成十六)年度「一般研究」の選考について

十一月十二日(水) 午後四時十分

於 二号館二一〇一教室

◇大谷学会研究発表会

十月二十二日(水) 午後一時

於 講堂棟多目的ホール

釈教歌発達の歴史的意義

於 講堂棟多目的ホール

真宗教学の近代化と現在

◆第二回真宗学会例会
七月一日(火) 午後五時五十分

親鸞における仏土開頭の意義

於 尋源講堂

―浄土理解の変遷を通して―

於 博綜館第二会議室

殺人と自殺のあいだ―犯罪の深層―

於 博綜館第二会議室

作曲家 安部幸明の世界

於 博綜館第二会議室

真宗総合研究所

真宗総合研究所

◇真宗総合研究所委員会

七月二十八日(月) 午後五時

於 響流館会議室

・研究所規程の改定について

十月七日(火) 午後六時

乗托妙用の自己

―「予の三部経」―

於 響流館メディアホール

◇真宗学会大会

十月九日(木) 午後二時三十分

於 響流館メディアホール

臨終を語ることの意味
―「恵信尼消息」を縁として―
博士後期課程一学年 藤間哲祐

◆第四回真宗学会例会
十一月十一日(火) 午後五時五十分

於 尋源講堂

光明無量之願における「諸仏」について

の試験

博士後期課程一学年 平 光慈

雲鸞における止観の意義

―作願三義・觀察二義―

―予の三部経―

博士後期課程 橋本 真

◇第五回真宗学会例会

十二月十六日(火) 午後五時五十分

於 尋源講堂

浄土の救済論理に関する一考察

博士後期課程二年生 富岡量秀

英語圏の真宗研究に学ぶ

本学専任講師 井上尚

~~~~~  
仏 教 学 会  
~~~~~

◇史跡踏査

七月五日(土)

奈良国立博物館特別展〈インド・マトウ

ラー彫刻展〉(パキスタン・ガンダーラ

彫刻展) 仏像誕生の地から奈良へ) 鑑

賞と浄瑠璃寺を訪ねる旅

◇研究発表例会

十月十七日(金) 午後四時十分

於 尋源講堂

『Kinnadhenuの「一切悪趣清浄儀軌」

観』

博士後期課程第三学年 中島小乃美

「東南アジアに伝承された独自のジャー

タカ文学の発掘」大谷大学図書館所蔵

バーリ語貝葉写本 *Pandita's Jataka* の資
料的価値」 本学教授 吉元信行

◇修士論文中間発表会

十月三十一日(金) 午後四時十分

於 尋源講堂

◇公開講演会

十二月二日(火) 午後四時十分

於 響流館メディアホール

「マンガラとは何か」

国立民族学博物館教授 立川武蔵氏

◇研究発表例会

十二月十八日(木) 午後四時十分

於 尋源講堂

「バーリ律から見た日本の僧尼令につい

て」僧尼令第七条を中心にして」

博士後期課程第三学年

ウディタ・ガルシンハ

「説一切有部の分位縁起説」

任期制助手 箕浦暁雄

「浄土教の相承説について」

本学教授 木村宣彰

~~~~~  
宗 教 学 会  
~~~~~

◇第二十二回「大拙忌」記念公開講演会

七月一日(火) 午後四時

於 尋源講堂

「鈴木大拙と西田幾多郎」

京都大学大学院教授 藤田正勝氏

~~~~~  
文 藝 学 会  
~~~~~

◇文藝学会公開講演会

七月七日(月) 午後一時

於 響流館メディアホール

『万葉集』の無常観

同志社女子大学教授 寺川真知夫氏

平野五岳と西郷南洲

本学教授 河内昭圓

◇『文藝論叢』第六十一号発刊

(二〇〇三年九月)

文人たちの交友

——藤原行成を軸として—— 後藤昭雄

『遁世述懐抄』所収漢詩について

仁木夏実

『内裏名所百首』の享受と歌枕の固定化

赤瀬知子

七部解と七部木槌

夏目漱石『明暗』の中の小林

見掛美知子

〔A5判 七十八ページ〕

国文学会

◇国文学会講演会

九月二十七日（土）午後三時

於 尋源講堂

樋口一葉いじわる日記

本学教授 荒井とみよ

西洋文学研究会

◇年次大会

七月二十六日（土）午後二時三十分

於 博綜館第五会議室

一、総会

二、研究発表

1 アンドレ・ジッドの日記体小説

— その特徴と効果について

小坂美樹

2 臨界期考察を通して考える外国

語教育 西尾由利子

短期仏教科

◇二年一夜研修会

九月十九日（金）二十日（土）

於 湖西キャンパスセミナーハウス

二年の一夜研修会を開催。卒業研究の提出に向けて、中間発表会と教員を交えての懇談会を行った。

幼児教育科

◇『幼児教育科研究紀要』第五号発行

平成十五年十二月二十日

〈目次〉

・おもちゃを考える

— 子どもを取り巻くおもちゃ環境 —

竹田ひとみ

・日本児童文学における『聊齋志異』の

再話 大塚政子

・身体表現を用いた性役割観とジェン

ダー・アイデンティティ研究のための

序論 井上摩紀

・作曲家安部幸明の世界 豊住征子

・クリムトとドイツ美術における表現主

義の流れについて 岡崎紀子

・月刊保育絵雑誌「ヒカリノクニ」創刊

号をめぐって 藤本芳則

・真宗保育者像を求めて

— 「命」に南無し、「南無」の心に

生きる —

・「家族」「家庭」を考える

大城邦義
山本真理